

2001 年度社長表彰実施

MESCO は年に一度、社内で功績のあった優秀なグループ及び個人を表彰する『The Best MESCO Engineer of The Year, 2001』及び『The MESCO Group of The Year, 2001』が、この程決定し、社長より表彰されました。『The Best MESCO Engineer of The Year, 2001』には、八戸製錬所スラグフェーミング設備増強起業工事を受注・完成した三條目主事（エンジニアリング事業部 東北支店 技術部）、『The MESCO Group of The Year, 2001』には、(株)エム・シー・エス下関工場第6期起業工事を担当した茅森主任（エンジニアリング事業部 技術本部 機械部）ら5名です。MESCO は、この制度により全社員の開発意欲を高め、技術の向上に役立てています。



ベストエンジニア受賞の
東北支店 三條目主事



受賞者

国内営業部員紹介

この度、台湾美施可股有限公司に勤務していた松永参事が7月1日付で国内営業部へ配属となりました。
国内営業部では、主にプラント関係の新規顧客開拓を担当し、今迄培った技術と経験を生かし更なるMESCOの飛躍に努力します。



Engineering Quarterly

平成14年 9月10日 発行 Vol.30

発行責任者 国内営業部 秋山 輝夫(akiyama@mesco.co.jp)

発行担当者 国内営業部 正木 孝信(masaki@mesco.co.jp)

明日を担う技術の



三井金属エンジニアリング株式会社

本店 〒130-8531 東京都墨田区両国 2-10-5 Tel 03(3633)1156 Fax03(3633)8977(国内営業部)

C E C 〒362-0021 埼玉県上尾市原市 1352-1 Tel 048(770)1111(代表)Fax048(770)1131

東京支店 〒273-0017 千葉県船橋市西浦 3-9-1 Tel 047(432)0131(代表)Fax047(432)0127

東北支店 〒039-1161 青森県八戸市大字河原木字浜名谷地 76 Tel 0178(28)2041(代表)Fax0178(28)5251

MESCO

Engineering 2002 年 9 月

Quarterly Vol 30

Aテレビ局 新スタジオに亜鉛箔テープ 採用

素材部品営業部

今年度末に竣工予定の六本木六丁目再開発において、放送センター新築工事の電波シールド工事にMESCO亜鉛箔テープ『ZNシールドテープ』が採用となり、この程完納致しました。
アルミ箔との競合でシールド性能、強度、施工性からMESCO ZNシールドテープが優れており採用されたものです。

同様の実績は、フジテレビ、SONYスタジオ他、地方テレビ局にも採用されています。

今後の予定としては、今期施工予定の名古屋某テレビ局が本仕様にて決定しました。

MESCO素材部品営業部は、今後も幅広い分野で要求されるシールド対策用として製品開発、販売に努めていきます。

- 1) 設計：横総合計画事務所 施工：竹中工務店
- 2) シールド工事施工：日本板硝子環境アメニティ
- 3) スタジオ数：4室
- 4) 納入量：37, 220m
- 5) 減衰性能：85dB
- 6) 仕様概要：PCF板に亜鉛鉄板0.3mm打込み
そのジョイント部と貫通部を亜鉛テープにて目地処理する。



ZNシールドテープ



六本木再開発ビル

東北支店

米軍三沢基地 ジェット燃料タンク建設付帯工事 受注

MESCO東北支店は、得意分野である石油関連の大型工事を大成建設㈱殿より受注しました。本工事は、東北支店が16年前に三沢基地で同種の工事を施工した実績と技術力が高く評価され、大成建設㈱殿から特命での受注となったものです。本施設は、米軍三沢基地内に16,000k1のジェット機燃料タンク2基とフィルターセパレータスタンド1棟、バルブステーション3棟、ポンプハウス2棟を建設し、ポンプ及び各種機器、配管設備により、ジェット燃料の受入、貯蔵、充填をする為の施設であります。**MESCO**東北支店は、これらの施設に付帯した機器、配管、換気、消化設備等の設計、輸入資材を含む機器調達、製作据付、非破壊試験検査、試運転までの一式の工事を施工するものです。既設燃料配管との溶接接続、切り替えが数多くあり、油抜き、ガスパーズ、既設配管の切断、溶接等は、厳しい品質管理と確実な安全管理が要求され、東北支店のこれまでの石油関連の工事経験と技術を生かした特殊工法での施工計画で進めていきます。平均口径200Aの燃料配管の総長さは3,000mであり、現在、平成15年9月完成に向け、埋設配管の布設、溶接、非破壊検査等の工事を施工中であり、その完成が待たれるところです。



東北支店

北海道東藻琴村殿 ごみ焼却施設改造整備工事 受注

MESCO東北支店では、この度北海道東藻琴村殿より、ごみ焼却施設改造整備工事を受注しました。対象となるごみ焼却施設は、昭和59年東北支店で受注し建設した4.5t/8時間・直投式逆燃焼炉・乾式エゼクター方式の施設で、18年間大きなトラブルもなく現在も運転している施設です。

このたびの工事は、網走管内の東藻琴村・女満別町・常呂町の3町村で一部広域を組み、同区域の中でベストな状態にある東藻琴村の既存炉を改造増強して、3町村分の可燃物処理に活用しようという計画です。本施設の改造後には直投P&C併用式・自動連続灰出設備・サイクロン燃焼室+冷却・減温塔+バグフィルター設備・飛灰処理設備等を完備し、ダイオキシン類対策に対応した新しい構造基準に適合の最新施設に生まれ変わります。本工事は、環境省の排ガス高度処理・飛灰固化処理等の補助を受けて実施するもので、平成15年4月からの本操業に向けて現在設計等の作業中であります。

MESCO東北支店では、これら環境分野においても青森県内をはじめ、北海道まで広範囲に挑戦しています。



東藻琴村殿ごみ焼却施設

MESCOの豊富な技術と経験が今、各地で展開されています。

国内営業部

砥石焼成用ベル型炉完成

MESCOは、工業用砥石製品の大手であります三井研削砥石株式会社殿より、砥石焼成用ベル型炉を、受注し完工いたしました。

炉メーカーとの熾烈な競走の結果、技術面と価格面で当社を採用していただきました。

仕様選定は、お客様との緻密な打合せのもと当社の経験を生かし工期の短縮を行い安全面、技術面で高い評価を得ました。

MESCOは、今後とも豊かな技術を提案していきます。

施工場所 埼玉県入間市



製造製品



砥石焼成用ベル型炉

パイプ事業部

特殊加工ポリエチレン管のプラント配管への展開

当初はステンレス鋼管で設計されていましたが、耐食性、可とう性、鋼管に比べて熱が逃げにくくボイラー効率が良くなることなどが**MESCO**パイプ採用の決め手となりました。写真のように主管450mmに対し、355mm、90mmのT分岐90度エルボの組合せ等、**MESCO**設計図に基づきあらかじめ製造工場にてプレハブ生産を行い、寸法精度を持たせることにより工場現場においてもスムーズに配管ができました。従来の大口径ポリエチレン管では輸送面を含めプレハブ化製品の調達が難しかったのですが、**MESCO**の設計力を活かしこれを可能にしました。今後もプラント部門への展開をめざして製品開発を行っていきます。

● 採用パイプ

品種 WE-1 口径 450mm 長さ 330m

ポリエチレン製ヘッダー加工管
450×400mm

